

ウクライナ避難民支援のため家財道具を神奈川県に寄付

神奈川県遊技場協同組合（理事長：伊坂重憲）と神奈川県福祉事業協会（会長：伊坂重憲）は、ウクライナ避難民支援に取り組む神奈川県に対し、県が避難民のために確保している県営住宅5部屋分の家電や寝具など（230万円相当）を寄付しました。

1 日時	令和4年4月25日(月) 午前10時50分
2 場所	神奈川県庁 本庁舎
3 贈呈者	神奈川県遊技場協同組合 理事長 伊坂重憲 神奈川県福祉事業協会 会長 伊坂重憲
4 受贈者	神奈川県
5 贈呈品	家財道具 (230万円相当)

6 概要

神遊協と神奈川県福祉事業協会（神福協）では、ウクライナ避難民支援に取り組む神奈川県に対し、県が避難民のために確保している県営住宅5部屋分の家電や寝具など（230万円相当）を寄付しました。

4月25日に行われた目録贈呈式において、伊坂理事長は、「避難民の方が少しでも落ち着いて暮らせるように、お手伝いの一環だと思っている。これが呼び水になっているいろいろな企業や団体が続いてくれたら嬉しい。」と挨拶をしました。

黒岩知事は「県営住宅100戸分と住宅供給公社21戸分を避難民に提供できるよう準備をしたが、箱だけなので本当にありがたい。」と感謝のことばを述べられていました。



写真左から 伊坂重憲理事長 神奈川県 黒岩祐治知事

目録贈呈式の模様は、4月25日テレビ神奈川の複数のニュース番組で放送されたほか、新聞各紙でも報道されました。